

利用学習計画書

平成25年4月22日

担当 第6学年 市川 由佳

1 ねらい

縄文時代や旧石器時代の自然環境や人々の生活について遺跡や展示資料を見学し、歴史学習への興味・関心を高める。

2 評価

縄文時代や旧石器時代の自然環境や人々の生活について関心を持ち、進んで見学や体験活動に取り組んでいる。

3 学習活動について

社会科「縄文のむらから古墳のくにへ」

- ・遺跡を見学したり、体験活動をすることで歴史学習への関心・意欲を高める。
- ・縄文時代の人々の生活や社会の様子について調べ、まとめる。

4 事前指導

- ・地底の森ミュージアム、縄文の森広場の概要について説明し、関心を持たせる。
- ・教科書や資料集などで大まかな縄文時代の人々の暮らしについて学習する。

5 当日の指導（活動）内容

（1）見学学習

- ・館職員の説明を聞きながら学習
- ・学習ノートを利用して館内見学

（2）体験学習

- ・石器作り（地底の森ミュージアム）
- ・勾玉作りまたは編布作り（縄文の森広場）

6 当日の交通手段 貸し切りバス

7 事後指導

- ・学習ノートを利用してまとめる。
- ・分かったことや感想をまとめ、発表会を行う。

利用学習報告書

平成25年5月31日

担当 第6学年 目々澤 香

1 事後指導について

(1) 実施日

平成25年5月9日(木) 4、5校時

(2) 主な内容

- ・学習ノートで学んだことや体験した感想をもとに学習を振り返る。(社会科)
- ・学習ノートやパンフレットを活用して学習したことをワークシートにまとめる。(社会科)

2 送付する資料

ワークシート (6名分)

縄文の森・地底の森ミュージアムの報告会

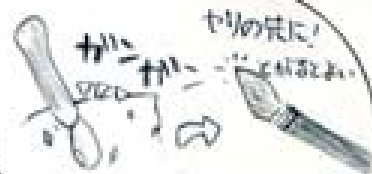
こんなことを学習しました！

～石器作り(地底の森ミュージアム)～

石器作りにはとても力がいらいます。

シカのつので、石をたたき、わります。

ずいっと手を上にあげたり下げたりでとてもつかれました。



展示室では昔のままの遺跡に、7分の映画、クイズと、とても楽しく学びました。解せつも、とてもくわしかいたです。

～まが玉づくり(縄文の森)～

縄文の森で作ったまが玉は、とてもやわらかい石だったのに、とてもつかれました。コンクリートをめらしたり、大変な作業でした。



展示室では、発掘された縄文土器を生で見れたので、とてもうれしかったです。



武器



昔の人の暮らし

←このような
道具はこわれるまで
使った。

感想(思ったこと・考えたこと)

どちらも楽しく学べてよかったです。

貴重な物をたくさんかざってあって、昔の人達のくらしが、とてもよく分かりました。

縄文の森・地底の森ミュージアムの報告会

こんなことを学習しました！

・昔の人は、狩りの道具の一部になる石をわざわざ山や川
道具の一部になる石をわざわざ

川に行き、石匙・ナイフ形
石器・石庖丁などを作り
ました。



ナイフ形石器



石匙

・約15,000から13,000年前に氷河期が終わり、日本列島は急激
に温暖化が進みます。縄文時代に定住生活が始まり、生活の道具
として土器が製作され、弓矢なども使われ始めました。

・旧石器時代に棲息していた大型動物に替わってイノシシやシカなど
の中・小型動物を狩り、海辺では魚介類を捕り、漁具などにも
工夫が凝らされました。人々の暮らしは、多様な食材に支えられ
たとみられ、この時期に自然と共に生きる縄文人のライフ
スタイルが生まれたと考えます。

感想(思ったこと・考えたこと)

・昔の人は、今と違って狩りや道具作りを自分たちの手で
行います。けど今の人には、人が作りそれを買い、道具
はチェーンソーや自動で動く機械を使います。昔と今を比べると
とすごくさかそうさがわかりました。

縄文の森・地底の森ミュージアムの報告会

こんなことを学習しました！

縄文

たて穴住居 → まわりに、たき火のあと
落し穴

こんなあとを見つけた。
粘土を採掘した穴
粘土を貯蔵そうした穴

中へ、暗くて、すずい

たて穴住居は、くりの木約20本でつくられて

今のは、硬度が1や2回
けど、昔の縄文は石更土が7など高か、縄文時代の人、もと時間をかけていた？

旧石器

2万年前は、旧石器時代そして、人類の進化では、

旧石器人は、石器などもつくっていたことが分かります。新人だた

予りの先、これを旧石器時代の人、遠くまで歩いて石をとり

に行き時間をかけて、こんなきれいなケツにしず、これは旧石器

の技だからこそ、できるんだなと思いました。

旧石器時代には家がなかった？なので野宿をしていた。

これは石の器、という今でいうと、器です。

感想(思ったこと・考えたこと)

今と昔では、昔は自分で道具をつくらせて自分で狩りをし、
る生活だったけれど今はぜんぜんちがうなと思いました。
縄文時代は、家の形などがちがって、木ででき
ていて、昔の人はすごいなと思いました。

縄文の森・地底の森ミュージアムの報告会

こんなことを学習しました！

地底の森では、旧石器時代のことが分かりました。

そこにある遺跡は「富沢遺跡」です。この遺跡から「旧石器時代にはもう人が住んでいた」ということがわかったそうです。それは、今から2万年ごろの当時の人たちが生活した、たき火のあとや、石器（ヤリの先）の跡などを見つけたからです。

なぜ！

「富沢遺跡」が見つかったのでしょうか。

そして「富沢遺跡」というのでしょうか。

富沢遺跡

は学校の体育館を立てる時に見つかったそうです。

富沢遺跡は、富沢で見つかったから

「富沢遺跡」という名前になった

そうです（そのまんまですね）

生活の
あし

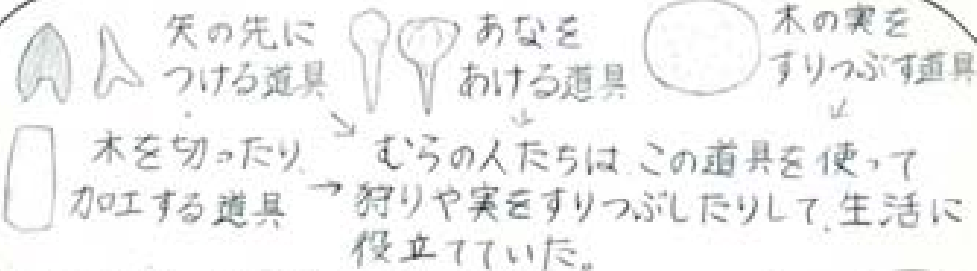


感想(思ったこと・考えたこと)

ふつうに行ったら分からないようなことまで、分かりました。前に行ったことがあるけど、その時はいまいち意味が分からなかったけど、遺跡を見ながら説明してくれたので、旧石器時代のことに興味を持ちました。もともと旧石器時代のことを知りたくなっていた。

縄文の森・地底の森ミュージアムの報告会

こんなことを学習しました！



縄文時代の人たちはどんぐりのネックレスや耳かざり、ひすいのペンダントを身につけておしゃれをしていた。



～今の仙台あたりの森とちがうところ～

今の仙台の平均気温 11～12度 2万年前の平均気温 4度くらい

今の仙台と比べて平均気温が7～8度ほど低かった

・湿地やぬま地がある、しっしゅんな土地だった

★氷河期の森の植物★

高い木 → アカエゾマツ・グイマツ・チョウセンゴヨウ

低い木 → ノリウツギ・タカネナナカマド

草花 → ミズバショウ・オドリコソウ・ヒツジグサ



感想(思ったこと・考えたこと)

縄文時代や旧石器時代の人たちは道具を作ったり、自分が食べる物をとってきたりするのが大変だったことから、今の時代にくらべて縄文時代や旧石器時代の人たちの生活は不便なところが多かったんじゃないかなーと思いました。

縄文の森・地底の森ミュージアムの報告会

こんなことを学習しました！

縄文の森ミュージアム

- ・25年前の土壌層は現存の約5m下にあります。
- ・木の根や木の幹などがあることから昔森があったことがわかった。
- ・25年前の新人の人はたき火をした後木ありその周りには石器があった。石器を作っていて、2つにわかれたものもあり、組み合わせたものもある。
- ・上から流れてきた水かたまりで水をとりおでできることがあるそうです。
- ・旧石器人たちが残していた石器は石包丁です。
- ・ほかにもいろいろな動物を見た。
- ・クロヒメゲンゴロウは富沢に住んでいた昆虫です。

石包丁

クロヒメゲンゴロウ

ナワタツ石

石匙

縄文の森広場

広場には、たくさんの木あり、くりやヤマガクラ、オニグルミなどがあった。昔の人は、矢の先につける物やあなをあける道具などを自分たちで取って作っていたことがわかった。

・やりをして重い物をかついで運ぶこともあった。

感想(思ったこと・考えたこと)

- ・地底の森ミュージアムでのスクリーンの映像では、えもいえない、ご飯を作ったり、石をけずってやりの先の石器を作っていたなんて知らなかった。
- ・25年前は旧石器時代の新人または旧石器人ということも分かった。
- ・また、くり見学をしに行きたいです。